

1. 科目名 (単位数)	英文学 (作家・作品論) (2 単位)	3. 科目番号	EDEN3318
2. 授業担当教員	高橋 みどり		
4. 授業形態	講義、発表、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「異文化理解」を履修すること。		
7. 講義概要	この授業では、イギリス文学の歴史的な主潮を概観し、イギリス文学の主要作家と作品を考察するとともに、各々の作家とその作品の時間的・空間的特徴および文化的背景をも明らかにして、今日の国際化社会で不可欠のグローバルな視野を広げることを目的とする。また、各主要作家の主要作品の名場面あるいは名文の一部を読んで、作品の真髄に触れ、名作や古典と呼ばれる所以を知ることができるようにする。文学の歴史的考察は、文化的視点とも重なり合い、密接に関連しあう側面を有している。その意味では、「英文学(作家・作品論)」は「異文化理解」を補完し、深化させる役割をも果たしているといえる。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イギリス文学作品において使用されている様々な英語表現について理解している。</li> <li>2. イギリス文学作品で描かれている、国と地域の文化について理解している。</li> <li>3. イギリス文学の全体像と各作家・作品の特徴を分析し考察して、その成果をまとめて発表できるようになることに加え、自らの意見をレポートにまとめることもできるようになる。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業内容の理解を深めるため、また主体的に授業に取り組む姿勢を養うため、発表とディスカッション形式を取り入れるので、発表の準備を十分に行い考察を深めておくこと。</li> <li>2. 授業で扱う作品から一作品を選び、ブックトークの原稿・読書感想画・マップ等を作成し提出すること。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 プリントを使用する</p> <p>【参考書】 神山妙子編著『はじめて学ぶ イギリス文学史』ミネルヴァ書房。 相島倫嘉著『イギリス文学の流れ』南雲堂。 秋篠健一、金子益道〔他〕編『イギリス文学への招待』朝日出版社。 福田昇八著『イギリス・アメリカ文学史』南雲堂。 川口喬一著『イギリス小説入門』</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 イギリス文学の全体像と各作家・作品の特徴を分析し考察して、その成果をまとめて発表できるようになることに加え、自らの意見をレポートにまとめることもできるようになったか。</p> <p>○評定の方法 レポート 30% 発表 30% 小テスト 20% 受講態度・参加姿勢 20%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	発表の準備にあたっては、プリントに書かれている内容を熟読すること。表面的な理解に止まらず、作家の人物像や作品の作風の特徴をしっかりと捉えて、自分の言葉で語れるようになってほしい。また、他者の発表を熱心に聞き、適切な質問をするなど、傾聴力を高めること。自らの思考を深め、視野を広げることへとつながるであろう		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション イギリス文学の概観、発表の仕方とまとめ方	事前学習	英文学に関して知っていることを発表できるようにまとめておく。
		事後学習	英文学の流れのポイント、発表の仕方とまとめ方を確認する。
第2回	シェイクスピアの時代 (1) 第1期 習作時代 第2期 ひとり舞台の時代	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。
第3回	シェイクスピアの時代 (2) 第3期 悲劇の時代 第4期 ロマンズ劇の時代	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。
第4回	ミルトンの時代 ジョン・ミルトン	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。
第5回	新古典主義の時代 アレグザンダー・ポープ、サムエル・ジョンソン	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。
第6回	近代小説の時代 サムエル・リチャードソン、ジェーン・オースティン	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。
第7回	ロマン主義の時代 (前期) ウィリアム・ブレイク、ウィリアム・ワーズワース、サムエル・コールリッジ	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。
第8回	ロマン主義の時代 (後期) ゴードン・バイロン、パーシィ・シェリー、ジョン・キーツ	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。

第9回	ヴィクトリア時代(1) アルフレッド・テニソン、ロバート・ブラウニング	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。
第10回	ヴィクトリア時代(2) チャールズ・ディケンズ、エミリー・ブロンテ	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。
第11回	現代小説の発展の時代 トマス・ハーディ、オスカー・ワイルド	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。
第12回	モダニズムの時代 ジェイムズ・ジョイス、T. S. エリオット	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。
第13回	現代小説の時代(1) ヴァージニア・ウルフ、E. M. フォースター	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。
第14回	現代小説の時代(2) D. H. ロレンス、アイリス・マードック	事前学習	プリントを読み込んで発表の準備をし、原作の意味を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し発表時の問題点と原作の読み違いを確認する。
第15回	小テスト まとめ、レポートを書くための要点と諸注意	事前学習	小テストの準備を十分に行う。プリントと参考書の必要な箇所を読み、レポートを書く準備をする。
		事後学習	レポートを書く要点と諸注意を確認して、レポートを書き進める。